

## 第14回 桐生・新宿 森と水による交流



### 報告書

- 1 趣 旨 里山ボランティア（森づくり）の体験を通して「水を守るために山林を守る」ということの大切さを学び、環境問題への関心を高めるとともに、利根川上下流域住民の交流と地域づくりを目的とする。
- 2 開催日時 平成28年5月28日（土） 午前10時00分～午後3時00分
- 3 場 所 桐生市梅田町地内 青少年野外活動センター、梅田ふるさとセンター、和紙工房、親水広場  
※集合場所：青少年野外活動センター駐車場
- 4 内 容 林道散策と森林環境教育、利根川上下流域住民の交流会、カブトムシ幼虫プレゼント、竹とんぼづくり、間伐板材お絵かき、チェンソー体験、桐生川で森と水のお話、和紙工房見学  
今回柄杓山の事前調査の結果、マダニの異常発生が確認され、下刈りのプログラムの変更に至り、梅田ふるさとセンター往復の散策にしました。林道コース49名（山ノ神広場で桐生広域森林組合の森林作りのお話を聞いた）、河川コース20名に分かれ、帰路では手すき和紙工房を見学しました。
- 5 参加者 107名  
一般申込者50名（大人28名、子ども22名）、利根川下流域の住民7名（大人4名、子ども3名）、各種団体参加者大人48名（桐生市、NPO法人赤城自然塾、桐生水源の森づくりの会、桐生の清流と森林を守る会、きりゅう市民活動推進ネットワーク、桐生広域森林組合、ボランティアサークルCVC、桐生市子ども会リーダーズクラブ（KLC））、報道関係者2名（上毛新聞、桐生タイムス）
- 6 主 催 桐生市、NPO法人赤城自然塾、桐生の水源の森づくりの会
- 7 後 援 桐生市教育委員会
- 8 協 力 桐生広域森林組合、桐生の清流と森林を守る会、きりゅう市民活動推進ネットワーク、川づくりネットワークきりゅう、NPO法人 新宿環境活動ネット、(有)リボーン<エコツーリズム・ネットワーク>、(株)スタイルブレッド、ボランティアサークル CVC、桐生市子ども会リーダーズクラブ（KLC）、群馬県緑化センター

今回 14 回目となりました。参加者数は 107 名となり、桐生市との共催事業として多くの方々に理解・協力を頂き、実施できました。

朝早くから昼食の準備に当たって頂き、焼き豚サンド、カレーライス、オニオンスープ、サラダ、スイカ、バナナ、ゆで卵、コーヒーゼリー、麦茶 等おもてなしの心で腕をふるって頂きました。



小堀さん 焼き豚の仕込



梅田公民館 昼食の準備

10:00 には新宿から 2 家族 5 名も到着し鳥井副市長のご挨拶で開会となりました。



10:15 梅田ふるさとセンターへ向けて出発 途中森づくりのお話と手すき和紙工房体験



11:45 和紙工房到着



12:00 午前中のプログラム終了し、青少年野外活動センター帰着

広場にて近藤さんの司会で午後のプログラムを紹介し、東京から手術後間もない状態を押して参加頂いた(有)リボーンの壺岐さんにご挨拶を頂きました。



12:15 楽しい昼食



13:00 午後のプログラム



桐生広域森林組合指導による間伐板材のお絵かき



桐生の清流と森林を守る会 竹とんぼ作り



桐生広域森林組合指導によるチェーンソー体験



桐生川親水広場での川遊び

14:45 プログラム終了を向かえ、パックに入れ用意したカブトムシの幼虫を子どもたちにプレゼントしてお別れになりました。

子どもたちから「もう終わりですか？」の声も聞こえてきて主催者の一人として感動しました。

来年も5月26日に「第15回桐生・新宿森と水による交流」実施することを伝え無事終了になりました。

## マスコミの対応

上毛新聞  
 (17) 地域 2016年(平成28年)5月29日 (日曜日) 上

東毛 

情報は 桐生 ☎ 0277-4  
 支局へ 館林 ☎ 0276-7  
 杉池 ☎ 0277-7

利根川上下流の縁 都民来訪

**桐生** 利根川上下流域の住民が水源の森づくりを進める「桐生・新宿 森と水による交流」(NPO法人赤城自然塾、桐生市など主催)が28日、同市梅田町の青少年野外活

**森歩きや工作で交流**

必要を感じた」と強調した。交流事業は14回目。例年は市有林での下草刈りなどを行っているが、今回はマダニが大量発生している影響で見送った。

間伐材に絵を描く児童

動センターなどで開かれた。東京からの参加者や市内の児童ら約110人が、森の散策やゲーム、森づくりの講演などを通して親睦を深めた。子どもたちはスギの間伐材に絵を描いたり、竹とんぼ作りや紙すき体験などに熱中した。

東京都渋谷区の広瀬由紀子さん(71)は「上流住民の環境保護への取り組みが分かった。自然を守る

(昭和21年2月8日第三種郵便物認可)

市有林の下草刈り中止に

マダニが大量発生

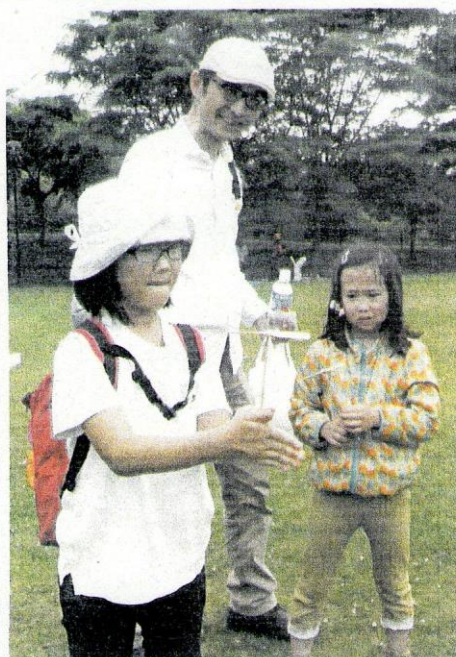
桐生・新宿森と水の交流事業

東京都民の水道水源となっている桐生市の山林に都民ら首都圏住民を招き、28日に行われた両地域住民の恒例イベント「桐生・新宿 森と水による交流事業」。そのメイン行事だった市有林の下草刈りが、マダニの大量発生で14年目で初の中止となり、別イベントに変更された。

行事内容を変更し対応

桐生市とNPO法人「てきたが、同市梅田赤城自然塾、桐生水源町一丁目の柄杓山(ひ

し、同市教委が後援する同事業。上下流域の住民が協働で水源の森を守ろうと、2002年から毎年この時期に行われている。毎回欠かさず行われ



竹とんぼを飛ばして遊ぶ佐々木さん親子(桐生市梅田町五丁目の市青少年野外活動センターで)

森林散策や工作楽しむ

親子連れなど100人が参加

今回も例年同様、首が参加。同センター周辺や桐生市近隣の親子連れら計約100人、び、クラフト作成や間

しゃくやま)市有林の下草刈り。25日に桐生広域森林組合と市の職員が見た際、大量のマダニが服に付いているのに気づいたという。マダニは家の中にいるイエダニとは別の種類で、森や草むらに生息して野生動物などを介して人に付着する。ウイルス性感染症「重症熱性血小板減少症候

伐板材お絵かきなどを楽しんだ。

埼玉原伊奈町から参加した佐々木努さん(43)、長女の凜さん(8)、次女の杏さん(7)親子は竹とんぼ

づくりに熱中。努さんので表現できてうれし来年はぜひ家族全員で「子どもと一緒に自い。今回仕事で来られ来たい」と話している。然の中で遊びたかったなかつた妻も含めてた。